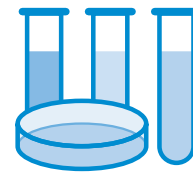


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

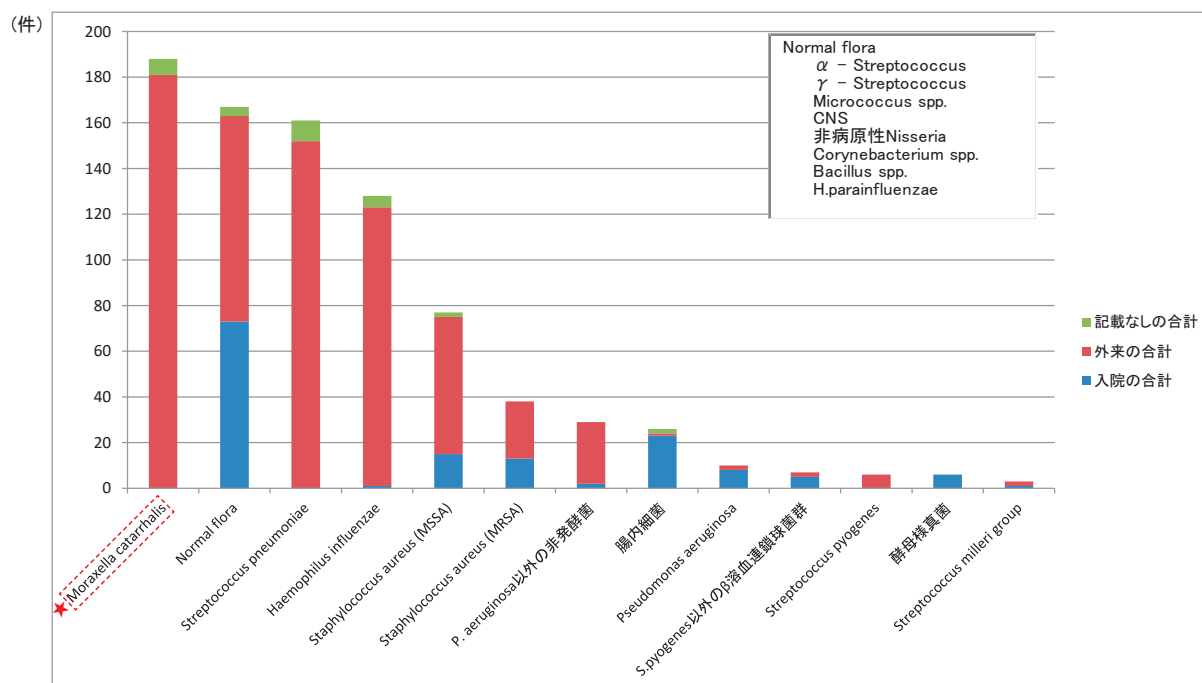


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2020年10月



2020年10月の咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況では、*Moraxella catarrhalis*が一番多く検出されています。*Moraxella catarrhalis*は偏性好気性のグラム陰性双球菌でヒトの鼻咽頭粘膜に常在し、ときに肺炎、気管支炎などの呼吸器感染症や中耳炎、結膜炎の起原菌となります。呼吸器感染症では*Haemophilus influenzae*、*Streptococcus pneumoniae*と同時に検出される場合が多くみられます。

また、多くの株がβ-ラクタマーゼを産生するため、ペニシリン系薬などには耐性を示します。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/

検査科微生物係